

令和 2 年度 SDG s に関する全国アンケート調査（案） 地方創生に向けた SDG s を活かしたまちづくり

内閣府では、「SDG s を原動力とした地方創生」を実現するため、SDG s 未来都市及び自治体 SDG s モデル事業の選定、地方創生 SDG s 官民連携プラットフォームの活動の活性化、地方創生 SDG s 金融の推進、普及展開活動を通じ、SDG s を自治体業務に広く浸透させて、地方創生の深化につなげるための取組を推進しています。また、令和元年 12 月に閣議決定された、第 2 期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、「地方創生 SDG s の実現などの持続可能なまちづくり」を横断的な目標と位置づけており、国と地方が一体となって取組を推進していくことが今後ますます重要となっています。

本調査は、自治体の SDG s 達成に向けた取組の実施状況を調査することを目的に、貴自治体における SDG s の認知度や取組度合いについてお伺いさせて頂くものです。また、前述の第 2 期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に「地方公共団体による SDG s 達成に向けた取組割合の把握を行う」ことが明記されました。全ての自治体が対象となっていますので、ご多忙の折に恐縮ですが、必ずご回答頂きますようお願い申し上げます。

回答に際しては、以下の資料を適宜ご参照ください。

- ① 【事務連絡】令和元年度 SDG s に関する全国アンケートのお願い
- ② 「地方創生に向けた自治体 SDG s 推進のあり方」コンセプト取りまとめ
(<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/kankyo/pdf/suiusinhyouka/dail/sankoul.pdf>)
- ③ 地方創生 SDG s ローカル指標リスト
(https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/kankyo/kaigi/sonota/sdgs_shihyou_risuto_1.pdf)
- ④ 令和 2 年度予算概算要求（令和 2 年〇月に公表）
（・・・・・・・・）
- ⑤ 第 2 期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（令和元年 12 月 20 日閣議決定）
(<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/info/pdf/r1-12-20-senryaku.pdf>)
- ⑥ 地方創生に向けた SDG s の推進について
(http://future-city.go.jp/common/pdf/sdgs_bk.pdf)
- ⑦ 動画『よくわかる地方創生 SDG s』、動画『地方創生 SDG s の推進』
(<http://future-city.go.jp/sdgs/>)

必須で回答いただきたい質問が 23 問あり、任意回答の質問を含め全部で 79 問あります。

また、選択式の項目については該当する選択肢をチェックしていただくとともに、記述式の項目はできるだけ具体的にご回答ください。

○回答期限：令和 2 年 10 月 30 日（金）までにご回答ください。

○内閣府担当者連絡先：内閣府地方創生推進室 清水、梅田、森田 TEL：03-5510-2199

【アンケート調査結果の公表について】

都道府県名・市区町村名・部署名・参考 HP・参考動画、設問 5-1)～5-2-9) 及び設問 6-7) のご回答につきましては、一覧にして内閣府 HP にて公表させていただきます。

また、その他の項目につきましても、自治体情報を除き、統計資料として従来どおり公表いたします。

55

【必須回答】

○貴自治体（回答担当者様）の情報について

60

※当該情報の「都道府県名・市区町村名」及び「部署名」につきましては、内閣府HPにて公表いたします。

「参考HP」「参考動画」については、貴自治体において地方創生SDGsに関する情報提供をされているHP、貴自治体において作成されている地方創生SDGs関連動画がそれぞれございましたら、URLを記載願います。どちらも、公的なものから地域住民向けのものまで対象は問いません。記載いただいたURLは内閣府HPにて公表いたしますので、リンク切れ等にご留意願います。

地方公共 団体情報	都道府県名		
	市区町村名(都道府県庁の場合は空欄)		
	自治体コード		
部署名			
氏名		役職	
連絡先	メールアドレス：		
	電話番号：		
参考HP			
参考動画			

65

【必須回答】

1) 回答担当者様は前回のアンケート※にお答えいただいた方でしょうか？

- ☐ 前回は回答していない
- ☐ 前回もアンケートに回答した
- ☐ 前回は別の担当者がアンケートに回答した

70

→昨年度ご回答いただいたご担当者様とご相談の上、前回の回答内容を踏まえ、ご回答いただけますと幸いです。

75

※前回のアンケートは、令和元年 10 月 1 日実施の『令和元年度 SDGs に関する全国アンケート調査 地方創生に向けたSDGsを活かしたまちづくり』を指します。

【必須回答】

2) SDGs の認知度に関してお伺いします。

2-1) SDGs についてどの程度ご存知ですか？

80

- ☐ 持続可能な開発を目指す上で経済、社会、環境の統合が重要であることを知っている。
- ☐ 17 のゴール、169 のターゲットから構成されるということを知っている
- ☐ 2030 年までに達成すべきゴールであるということを知っている
- ☐ SDGs という言葉は聞いたことがある、又はロゴは見たことがある
- ☐ 存在を知らない（今回の調査で初めて認識した）

85

【必須回答】

3) SDG s への関心度に関してお伺いします。

3-1) SDG s についてどの程度ご関心がありますか？

☐ 非常に関心がある ☐ 関心がある ☐ あまり関心がない ☐ 全く関心がない ☐ 分からない

4) SDG s の推進の方向性についてお伺いします。

4-1) SDG s を構成する 17 のゴールに関連する課題のうち、貴自治体として (A) これまで特に力を入れて取り組んできた課題、(B) 今後も引き続き注力したいと考えている課題 (C) これまではあまり重視して取組を行っていなかったものの、今後は注力していきたいと考えている課題はどれですか？

※17 のゴールに関連する課題について 169 のターゲットからイメージが難しい場合には、地方創生 SDG s ローカル指標リストを参考にしながらご回答ください。(複数選択可)

(https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/kankyo/kaigi/sonota/sdgs_shihyou_risuto_1.pdf)

ゴール		(A) これまで特に力を入れて取り組んできた課題	(B) 今後も引き続き注力したいと思っている課題	(C) これまではあまり重視して取組を行っていなかったものの、今後は注力していきたいと考えている課題
1	貧困をなくそう	☐	☐	☐
2	飢餓をゼロに	☐	☐	☐
3	すべての人に健康と福祉を	☐	☐	☐
4	質の高い教育をみんなに	☐	☐	☐
5	ジェンダー平等を実現しよう	☐	☐	☐
6	安全な水とトイレを世界中に	☐	☐	☐
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	☐	☐	☐
8	働きがいも経済成長も	☐	☐	☐
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	☐	☐	☐
10	人や国の不平等をなくそう	☐	☐	☐
11	住み続けられるまちづくりを	☐	☐	☐
12	つくる責任つかう責任	☐	☐	☐
13	気候変動に具体的な対策を	☐	☐	☐
14	海の豊かさを守ろう	☐	☐	☐
15	陸の豊かさを守ろう	☐	☐	☐
16	平和と公正をすべての人に	☐	☐	☐
17	パートナーシップで目標を達成しよう	☐	☐	☐
-	分からない	☐	☐	☐

【必須回答】

5) SDG s への取組状況についてお伺いします。

※本設問は、5-1) が「(1) 全体の取組状況」の質問となり、5-2) が「(2) 具体的な取組状況」の質問となりますので、整合性が取れるようご配慮ください。

※5-1) から 5-2-9) までの回答は内閣府HPにて公表いたします。

105

5-1) SDG s について現時点で推進されていますか、もしくは推進していく予定がありますか？

例) 自治体における各種計画にSDG s の観点 (SDG s のゴールとの紐づけ など) を反映、各種取組の推進の際にSDG s のロゴやゴールのマークを活用、地域内外の事業者等がSDG s に取組んでおり連携方策や政策への反映方策を検討中 など

110

- ☐ 推進している
- ☐ 今後推進していく予定である
- ☐ 今後推進を検討していく予定である
- ☐ 推進しておらず、今後当面推進していく予定もない

115

5-2) SDG s について推進している、又は推進していく予定である具体的な取組について伺います。

※「地方創生に向けた自治体SDG s 推進のあり方」コンセプト取りまとめP17~19 をご参照ください。

(<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/kankyo/pdf/suiusinhyouka/dail/sankoul.pdf>)

120

5-2-1) 自治体内部における普及啓発活動

例) 自治体内部における勉強会の開催、SDG s に関する職員研修 (有識者等による講演やワークショップの開催 (SDG s カードゲームなどのツールを活用した体験等も含む))、SDG s ロゴマークの活用 (バッジの着用など) など

- ☐ 推進している ☐ 推進していく予定である ☐ 推進していない

125

5-2-2) SDG s のゴール・ターゲット等を参考にした政策目標の策定等による、2030 年のあるべき姿を設定した将来のビジョンづくり

例) 地域の実態の正確な把握、バックキャスティングのアプローチを採用した 2030 年のあるべき姿の設定、ゴール・ターゲット等を参考とした政策目標の策定、各種計画やビジョン策定における地域課題解決の取組とゴール・ターゲットとの紐づけ、経済・社会・環境の 3 つの側面で相乗効果を生む仕組みの検討 など

130

- ☐ 推進している ☐ 推進していく予定である ☐ 推進していない

135

5-2-3) 部局を横断する推進組織の設置、執行体制の整備、進捗を管理するガバナンス手法の確立等による体制づくり

例) 部局を横断する推進組織の設置、執行体制 (人材、予算、権限、進捗管理等) の整備、地域内外の関係者との協議会等連携組織の設置、自治体内部での若手検討・推進チーム等の設置、自治体内部での勉強会の実施、進捗を管理するガバナンス手法として行政内部で進捗管理をする仕組みや、各種計画の推進協議会等による進捗管理の仕組み等、何らかの進捗管理をする仕組みを構築している など

140

- ☐ 推進している ☐ 推進していく予定である ☐ 推進していない

5-2-4) SDG s の要素の各種計画への反映

- 145 例) 総合計画、地方版総合戦略、環境基本計画、温暖化対策推進計画、地域再生計画、農村振興計画、
バイオマス産業都市構想、各種まちづくり関連ビジョン、健康福祉関連計画、教育基本計画 など
☐ 推進している ☐ 推進していく予定である ☐ 推進していない

5-2-5) S D G s に関する取組の情報発信、成果の共有

- 150 例) セミナー・シンポジウムの開催（主催、共催など）、共有すべき成功事例の国内外への発信（H P
掲載、情報誌への掲載、新聞・T V等での情報発信など）、地域住民向けのセミナーの開催、広報
誌等での紹介、パートナーシップの締結 など
☐ 推進している ☐ 推進していく予定である ☐ 推進していない

5-2-6) 国内外を問わないステークホルダー（関係者）との連携

- 155 例) 域内の連携（住民、企業・金融機関、教育・研究機関、N P O等）、自治体間の連携（国内）、国際
的な連携 など
☐ 推進している ☐ 推進していく予定である ☐ 推進していない

5-2-7) ローカル指標（自治体独自の評価指標）の設定

- 160 例) 自身の取組を的確に測定することができる指標の設定（K P I）、日本版 S D G s グローバル指標
(<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/statistics/index.html>) の参照、地方創生 S D G s ローカ
ル指標リスト (https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/kankyo/kaigi/sonota/sdgs_shihyou_risuto_1.pdf)
の参照 など
☐ 推進している ☐ 推進していく予定である ☐ 推進していない

165

5-2-9) その他

- ☐ 推進している ☐ 推進していく予定である
(500 字以内)

- 170 ※上記(2)の 1)～8)で 1 つでも推進しているとご回答いただいた場合は、(1)についても推進しているとご
回答いただいて差し支えありません。
また、ご回答いただいた取組の具体的内容は、このアンケートの末尾（設問 10）でお聞きます。
ぜひご回答いただけますと幸いです。

175

【必須回答】

6) S D G s に関する内閣府の取組についてお伺いします。

※6-7) の回答は内閣府H Pにて公表いたします。

- 180 6-1) 政府（内閣府）が公募した S D G s 未来都市・自治体 S D G s モデル事業をご存知ですか？
☐ 知っている } 【→6-2)へお進みください】
☐ 知らない（今回の調査ではじめて認識した） } 【→6-3)へお進みください】

- 185 6-2) S D G s 未来都市・自治体 S D G s モデル事業についてどこでお知りになりましたか？(複数回答可)
- ☐ 地方創生ホットライン（内閣府より発信） ☐ 内閣府ホームページ ☐ セミナー・シンポジウム
- ☐ テレビニュース ☐ 新聞（電子版含む）・本・雑誌 ☐ S N S（例：Twitter, Facebook）
- ☐ ニュースアプリ ☐ その他（ 100 字以内 ）

- 190 6-3) S D G s 未来都市選定に応募しましたか？
- ☐ 応募した } 【→6-4）へお進みください】
- ☐ 応募しなかったが、次回応募する予定である } 【→6-5）へお進みください】
- ☐ 関心はあったが応募できなかった
- ☐ 応募しなかった

- 195 6-4) S D G s 未来都市選定に応募した理由は何ですか？（複数回答可）
- ☐ 補助金の制度があったため ☐ ブランド力が魅力的だったため ☐ 予定していた既存の計画が応募要項に合致していたため ☐ その他（ 100 字以内 ）

- 200 6-5) (6-3 で「応募した」以外を回答された方へ) S D G s 未来都市選定に応募しなかった理由は何ですか？（複数回答可）
- ☐ 募集を知らなかった ☐ 補助金の活用が難しかった ☐ ブランド力が魅力的でなかった
- ☐ 申請が採択される見通しが立たなかった ☐ 予定していた計画又は既存の計画が募集要領に合致しなかった ☐ 申請書類の作成に人員・時間を割けなかった
- ☐ その他（ 100 字以内 ）

205

6-6)平成 30 年 8 月 31 日に、広範なステークホルダーとのパートナーシップの深化として、特に官民連携等を目的とした「地方創生 S D G s 官民連携プラットフォーム」

(参考：<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/kankyo/>)

が設立されました。同プラットフォームに入会していますか？

- 210 ☐ 既に入会している
- ☐ 入会する予定である
- ☐ 今後入会を検討したい
- ☐ 現在のところ入会は検討していない

- 215 6-7) 「地方創生 S D G s 金融」に関する取組状況についてお伺いします。

※本設問は以下をご確認いただきご回答ください。

国の動きとして、令和元年度設置された地方創生 S D G s 金融調査・研究会では、「地方創生 S D G s 金融」の官民連携のパートナーシップによる自律的好循環形成に向け、地域事業者や金融機関を対象に、登録や認証を行うなどの取組や、様々なステークホルダーによる事業の取組に対する評価手法等の構築などの枠組みについて具体化が本格的に進められているところです。

- 220 「地方創生 S D G s 金融の官民連携のパートナーシップによる自律的好循環形成に向けて」参照
- https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/kankyo/kaigi/sdgs_kinyu2.html

225

6-7-1)「地方創生SDG s 金融」に関する取組を推進していますか？

例)

・登録・認証制度等を通じて、SDG s に取組む企業等に見える化する仕組みを構築している、または、構築に向けた検討を行っている

230

・地域金融機関等と連携して、地域活性化に向けた取組や取組の検討を行っている（過去行ったことがある） など

☐ 推進している

☐ 推進していく予定である

☐ 推進していない

235

7) SDG s 推進に際しての課題や障壁（＝バリアー）についてお伺いします。

7-1) SDG s を推進する際に直面する（し得る）バリアーはありますか？（複数回答可）

7-1-1) 国や他の自治体に関連するバリアー

☐ 国等からの補助や支援が不足している

240

☐ 国や他の都道府県・市区町村との連携が不足している

☐ 国の方針が分かりづらいためどのように推進すればいいのか分からない

☐ 先行事例や成功事例がないためどのように推進すればいいのか分からない

☐ 国や地域全体の盛り上がり乏しい

☐ その他 （以下にご記述ください）

245

[500 字以内]

250

7-1-2) 自治体内部におけるバリアー

☐ 首長や議会の関心が低いためSDG s 推進の理解が得られない

☐ 自治体職員の関心が低いためSDG s 推進の理解が得られない

☐ 行政内部署間の職務分掌の問題や優先度をめぐる認識に差がある

☐ 行政内部での理解、経験や専門性が不足している

255

☐ 行政内部での予算や資源に余裕がない

☐ その他 （以下にご記述ください）

[500 字以内]

260

7-1-3) 国や自治体内部以外の他の関係者との連携に関するバリアー

☐ 地域住民の関心が低いためSDG s 推進の理解が得られない

☐ 市民団体/NPO の関心が低いためSDG s 推進の理解が得られない

☐ 地元企業・業界団体・金融機関の関心が低いためSDG s 推進の理解が得られない

☐ 専門家の支援が不足している

☐ その他（以下にご記述ください）

500 字以内

5

8) SDG s を推進することで得られる利点についてお伺いします。

8-1) SDG s を推進することで得られる利点として、どのようなことを期待しますか？（複数回答可）

- ☐ 住民の QOL の向上
- ☐ ローカルアイデンティティの開拓、地域活性化
- ☐ 経済・社会・環境政策の統合
- ☐ 国や都道府県・市区町村との連携の強化
- ☐ 自治体内における部局課間の連携の強化
- ☐ 民間企業・民間団体との連携強化
- ☐ 地域住民との連携強化
- ☐ 国際動向の把握
- ☐ 国際協力の推進
- ☐ 分からない
- ☐ その他（以下にご記述ください）

10

15

20

500 字以内

9) SDG s の推進に向けた、政府の支援策としてどのようなものを望みますか？（複数回答可）

9-1) SDG s に取り組むための情報提供等の整備に関して

- ☐ SDG s の解説、理解促進のための情報の提供
- ☐ SDG s に取り組むためのガイドラインの提供
- ☐ SDG s の認知度向上に関する広報活動の展開
- ☐ SDG s に関する情報交換、情報共有のための場や機会の提供
- ☐ 分からない
- ☐ その他（以下にご記述ください）

25

30

500 字以内

35

9-2) SDG s に実際に取り組む段階における支援に関して

- ☐ モデル自治体の選定と集中的支援
- ☐ 先導的な取組に対する補助金の交付・税制優遇等
- ☐ 専門家や有識者の支援や助言
- ☐ 担当者向けの研修や学習機会の提供
- ☐ 先行事例や成功事例の取り纏めと共有
- ☐ 分からない

40

☐ その他（以下にご記述ください）

500 字以内

5

9-3) 内閣府では、令和3年度予算概算要求に「地方創生に向けた自治体SDGs推進事業」を今年度に引き続き盛り込んでおりますが、【参考資料】([・・・・・・・・・・](#)) 31 ページに記載されている「自治体SDGsモデル事業」を行う場合に活用されますか？

☐ 具体的な事業に積極的に活用したい ☐ 具体的な事業について状況に応じて活用したい

10

☐ 今後予定している事業に活用したい ☐ 今後活用を検討していく予定である

☐ 今後活用していく予定もない

9-4) SDGs の推進に向けて、「地方創生に向けた自治体SDGs推進事業」以外の他関係省庁の令和3年度予算概算要求に盛り込まれている事業を活用されますか？

15

☐ 具体的な事業に積極的に活用したい

☐ 具体的な事業について状況に応じて活用したい

☐ 今後予定している事業に活用したい

☐ 今後活用を検討していく予定である

☐ 今後活用していく予定はない

【→9-5)へお進みください】

【→10 以降へお進みください】

20

9-5) 9-4)で、「今後活用していく予定はない」以外を選択された場合は、具体的な事業について、下記の記述欄にご記述ください。

500 字以内

25

【任意回答】

10) SDGs について具体的な取組等の状況についてお伺いします。今後の普及展開及び政策の検討に向けた参考とさせていただきますので、可能な限りご回答にご協力ください。

30

10-1) 貴自治体のSDGs についての自己認識の状況をご回答ください。

10-1-1) SDGs は、「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」の骨格をなすもので、2030 年までに達成すべき開発目標であることを知っている。

☐ 十分に内容を理解している ☐ 今後理解を深める予定である ☐ 興味がない

10-1-2) 持続可能な開発を目指す上で経済、社会、環境の統合が重要であることを知っている。

35

10-1-3) SDGs は先進国・途上国双方が取り組まなければならないものであることを知っている。

10-1-4) SDGs は 17 のゴール、169 のターゲット、約 230 の指標の 3 層構造で構成されることを知っている。

10-1-5) SDGs の 17 のゴールの内容を概ね理解している。

10-1-6) SDGs の 169 のターゲットに一通り目を通して、概ねその内容を理解している。

- 10-1-7) S D G s の 17 のゴールおよび 169 のターゲットの達成度を約 230 の指標によって測ることが求められていることを知っている。
- 10-1-8) S D G s の指標に関する最新情報を国連広報センターや国連統計局のホームページ等を参照して把握している。
- 5 10-1-9) S D G s の 17 のゴールの達成に向けて、自治体が果たすべき役割を理解している。
- 10-1-10) S D G s の達成に向けて自治体による貢献に大きな期待が寄せられていることを理解している。
- 10-1-11) S D G s への取組を推進するために政府が示した S D G s 実施指針に目を通し、内容を理解している。
- 10 10-1-12) S D G s のゴールやターゲットの中から自治体固有の事情にあわせた課題や目標、取組を選択する重要性を理解している。
- 10-1-13) S D G s の達成に向けた施策の推進によって、住民の QOL 向上、独自性のあるまちづくり、グローバル・パートナーシップの促進につながるなど、自治体にとって多くの利益を創出し得ることを理解している。
- 15 10-1-14) S D G s の達成に向けて、複数のゴールの解決に貢献するような相乗効果（シナジー効果）をもたらし得る取組を検討することが重要であることを理解している。
- 10-1-15) S D G s は複数領域にまたがる総合的な目標であり、その目標の達成に向けて 1 つの部署だけではなく、自治体内外の多様なステークホルダーと連携して取り組むべきであることを理解している。
- 10-1-16) S D G s 達成に取り組むことで、地方創生や社会貢献につながることを理解している。
- 20 10-1-17) 上記の内容の理解が自身の所属する部署内で十分に進んでいる。
- 10-1-18) 勉強会の開催等により、上記の内容の理解が複数の部署で十分に進んでいる。
- 10-2) 貴自治体の S D G s に対する取組体制をご回答ください。
- 10-2-1) S D G s の達成に向けた取組を統括する部署は決まっている。また、そのコンセンサスが得られている。
- 25 ☐ 取組を実施している ☐ 取組を実施する予定がある ☐ 取組の実施は予定されていない
- 10-2-1') (10-2-1 で「取組の実施は予定されていない」以外を答えた方へ) S D G s の取組を統括する(予定) 部署名をご記入ください。
- 30

100 字以内

- 10-2-2) 庁内の各部署・部門は自身の業務が S D G s のどのゴールに貢献し得るか自己点検をしている。
- 10-2-3) 庁内の複数の部署間で S D G s に対する情報が共有され、自治体全体での取組として展開している。
- 35 10-2-4) S D G s の取組を統括する部署は政策の立案に際して S D G s をはじめとする国際的な動向に関心を持っている。
- 10-2-5) S D G s の取組を統括する部署は S D G s 達成に向けた取組のなかでローカル（地域独自）に行われる成功事例や先進的・実験的な動向に関心を持っている。

10-2-6) S D G s 推進に係わる関係者（ステークホルダー）の役割が明確になっている。

10-2-7) 庁外の関係者（ステークホルダー）と S D G s に関する情報が共有され、協働する体制が整っている。

10-2-8) 首長や各組織、各部署の責任者などによって S D G s に対する情報が共有され、各々の担当者の
5 取組方針が決定している。

10-3) 貴自治体の S D G s の取組に関する目標・指標設定についてご回答ください。

10-3-1) S D G s の取組を統括する部署は、自治体固有の課題を整理している。

☐ 取組を実施している ☐ 取組み実施する予定がある ☐ 取組の実施は予定されていない

10 10-3-2) 自治体固有の課題を整理した上で取り組み時の優先順位を検討している。

10-3-3) S D G s の取組を統括する部署は、自治体の固有の状況を踏まえつつ、自治体の課題に関連する
ゴール、ターゲットを選択し、政策目標として取り纏めている。

10-3-4) 長期の政策目標を取り纏める際、2030 年（またはそれ以降）を見据えて、自治体として到達す
べき（達成すべき）ビジョンを持っている。

15 10-3-5) 長期の政策目標を受けて、具体的な達成目標を定めている。

10-3-6) 定めた政策目標や達成目標が総花的で主張の不明瞭なものになっておらず、自治体の規模に合わ
せた選択と集中が図られている。

10-3-7) 政策目標・達成目標の進捗状況を測るための指標を設定している。

10-3-8) 設定した指標のデータ収集の目途がたっている（データの収集可能性について検討している）。

20 10-3-9) 設定した指標の中に、多くの自治体がデータを収集していて相互比較ができるものがある。

10-3-10) 設定した指標の中に、自治体のアイデンティティを表現することが可能な独自の指標が含まれ
ている。

10-3-11) 達成目標の具体化が行われている（将来達成したい水準：将来目標値が定められている）。

10-3-12) 特に重要な指標（KPI）を定めるか否かについて検討している。

25

10-4) 貴自治体の S D G s 達成に向けたアクションプログラムについてご回答ください。

10-4-1) 自治体のアクションプログラム（総合計画、地方版総合戦略、都市計画マスタープラン、環境基
本計画等の各種計画）に S D G s への取組方針を盛り込み得るか検討している。

☐ 取組を実施している ☐ 取組を実施する予定がある ☐ 取組の実施は予定されていない

30 10-4-2) S D G s への取組方針をアクションプログラム（行動計画）として具体的に策定している。

10-4-2') (10-4-2 で「取組の実施は予定されていない」以外を答えた方へ) アクションプログラムが WEB
に公開されていたら、URL をご記入ください。

(
100 字以内
)

35

10-4-3) 策定したアクションプログラムは自治体の優先順位等を十分に反映したものになっている。

10-4-4) アクションプログラムに関係する自治体職員やステークホルダーの S D G s 推進のための人材
育成を実施している。

10-4-5) アクションプログラムの実施に向けて資金調達（自治体の財源確保や民間資金の活用）の目途が
たっている。

10-4-6) 自治体単独では解決できない課題の解決に向けて他の自治体との連携を検討している。

5

10-5) 貴自治体のアクションプログラム実施後のフォローアップについてご回答ください。

10-5-1) 目標の達成状況を確認するフォローアップの会議を開催し、進捗状況を報告している。

☐ 取組を実施している ☐ 取組を実施する予定がある ☐ 取組の実施は予定されていない

10-5-2) 部署の職員が異動した場合に備えてフォローアップの体制が整っている。

10 10-5-3) フォローアップで共有した課題は、次の施策検討にフィードバックされている。

10-5-4) 目標の達成状況を確認するフォローアップに際して、事前に設定した指標の値を活用し、実施し
た取組の成果を評価している。

10-5-5) 目標、指標の見直しの必要性等について検討を行っている。

10-5-6) 成功した取組や予定通り進まなかった取組を市民へ周知、共有する体制は整っている。

15 10-5-6') (10-5-6 で「取組の実施は予定されていない」以外を答えた方へ) 過去の取組が WEB に公開さ
れていましたら、URL をご記入ください。

(100 字以内)

20

11) その他のご要望

今後、内閣府では自治体の SDG s の達成に向けた取組をさらに推進していく方針ですが、
SDG s に関して、詳しく知りたい点、ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にご記入くださ
い。

25

(500 字以内)

30

アンケートは以上です。
ご協力、誠にありがとうございました。